



2023年12月28日

各位

会社名 株式会社城南進学研究社
代表者名 代表取締役社長 下村 勝己
(コード 4720 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役執行役員 CFO 杉山 幸広
TEL 044-246-1951

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、取締役会が定める経営の基本方針に基づき、経営層が主体となり資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた現状評価を行い、改善に向けた取組みを継続的に議論してまいりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 現状認識

当社グループは、中長期的な企業価値向上に向け、既存の学習塾事業の強化とともに、今後の発展が見込まれる能力開発事業やソリューション事業への投資も必要と考えております。目標である2026年度における営業利益率10%を達成するため、他社とのアライアンス、不採算教場の整理統合、管理業務の整理やDX化の推進を通じて事業ポートフォリオを強化し、資本の適正配分を推進しております。

しかしながら、直近3ヶ年は当期純損失を計上しており、PBRは1倍以上を確保しているものの、2023年11月末現在の当社の株価は378円と低迷している状況です。当社グループのみならず教育業界は進行する少子化の影響を強く受けており、特に2020年3月以降のコロナ禍に起因する売上の減少は多大なものがありました。このような状況においても当社グループは、将来性が見込まれる能力開発事業、ソリューション事業への投資を継続して拡大してまいりましたが、未だにその収益が十分に顕在化していない状況であり、その将来性について、投資家の皆様を含めた株式市場への説明が不十分であったことが、株価低迷の一因であると認識しております。

決算年月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
売上高(百万円)	6,941	6,746	5,709	6,254	5,945
当期純利益または当期純損失(△)(百万円)	△540	299	△1,056	△636	△135
ROE(%)	—	7.7	—	—	—
PBR(倍)	1	0.7	1.1	1.5	1.6
期末株価(円)	462	343	400	400	394

2. 改善に向けた方針

現状認識を踏まえ、主力である学習塾事業の収益性向上、能力開発事業及びソリューション事業の拡大、管理業務の整理やDX化の更なる推進、IR活動の強化により、営業利益率10%と株価の適正化を目指してPBR向上を図ってまいります。また、進捗状況につきましては、毎年検証を行い開示いたします。

3. 具体的な取組み

- (1) 学びの個別最適化と教室力の強化
- (2) 付加価値の高い幼少教育事業の新展開
- (3) 教育格差を是正する教育ソリューション事業の積極的展開
- (4) 攻めの収益構造改革
- (5) 理念経営を具現化する人財の育成

以 上